

平成25年度
宇治市小中一貫教育についてのアンケート
報告書(概要版)



宇治市教育の日シンボルキャラクター：ハチャ君

平成26年2月
宇治市教育委員会

I 実施概要

1 対象

- (1) 宇治市立全小学校 第4～6年の各学年1クラスの児童と保護者
- (2) 宇治市立全中学校 第1・2年の各学年1クラスの生徒と保護者
- (3) 宇治市立全小・中学校

児童生徒	計2,548名	(回収率98.4%)
保護者	計2,016名	(回収率77.9%)
学校	計32校	(回収率100%)

2 実施時期

平成25年6月17日～7月5日

3 設問内容

- (1) ねらい、取組について
(児童生徒・保護者・学校)
- (2) 中学校ブロックの体制等について
(学校)
- (3) 中学校入学に係る心配や不安などについて
(児童生徒・保護者・学校)
- (4) 期待する成果について
(保護者・学校)

Ⅱ 結果

1 ねらい・取組に関する設問について

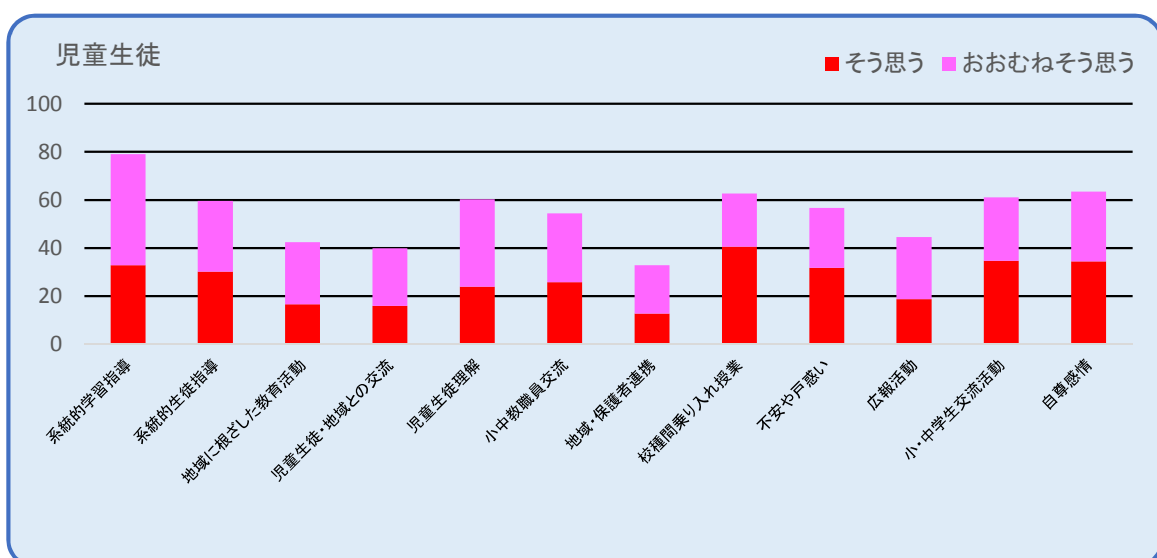
○児童・生徒、保護者の「系統的・継続的学習指導」「教員の校種間連携」「小・中学校の交流活動」についての期待される回答割合は高く、学年別では児童生徒、保護者ともに小学校6年生において期待される回答割合が高くなっています。

小・中学校のなめらかな接続に視点をあてた取組が定着し、充実しつつあります。

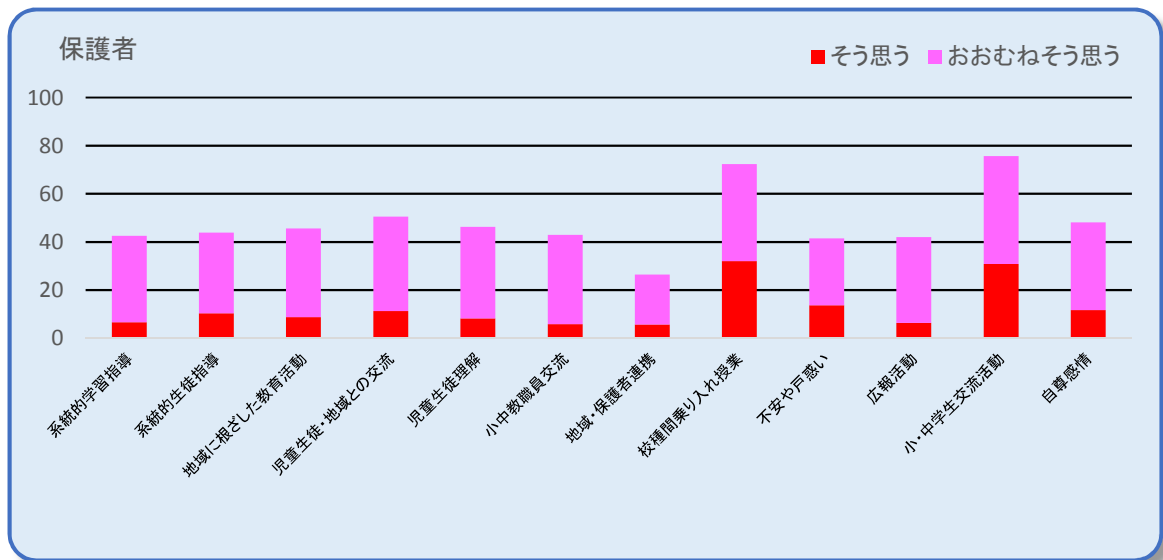
○中学校ブロックを単位とした地域社会・保護者相互の連携をはじめとした地域連携や広報活動についての期待される回答割合は低くなっています。また、児童生徒と比較すると保護者の期待される回答割合は総じて低く、さらに「わからない」とする回答割合が高くなっています。

中学校ブロックを単位とした地域社会・保護者相互の連携を深める取組の充実が望まれます。

(1) 設問別

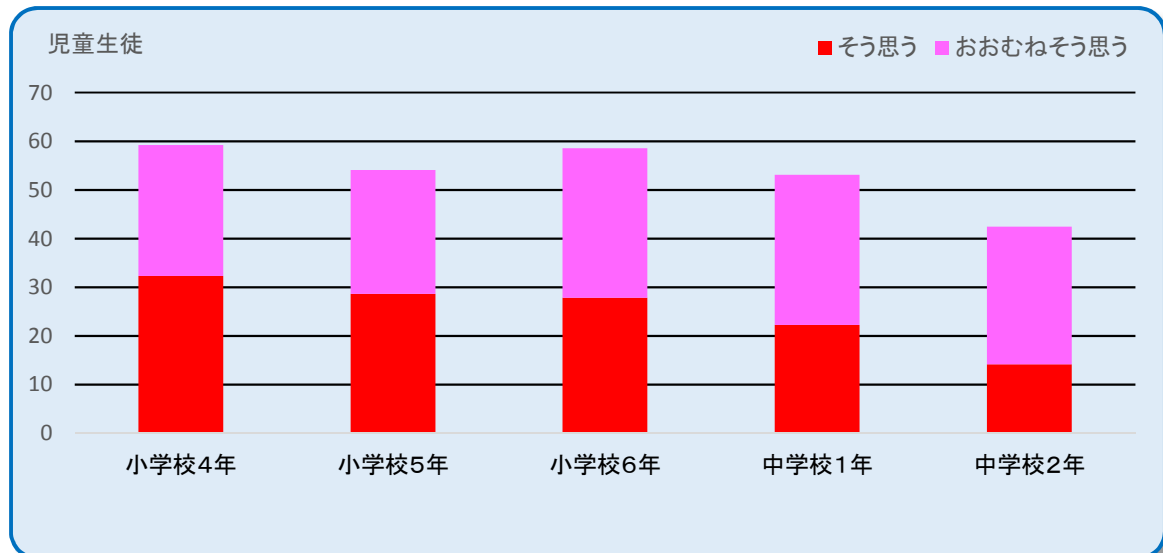


※全回答の中での「そう思う」「おおむねそう思う」との回答割合

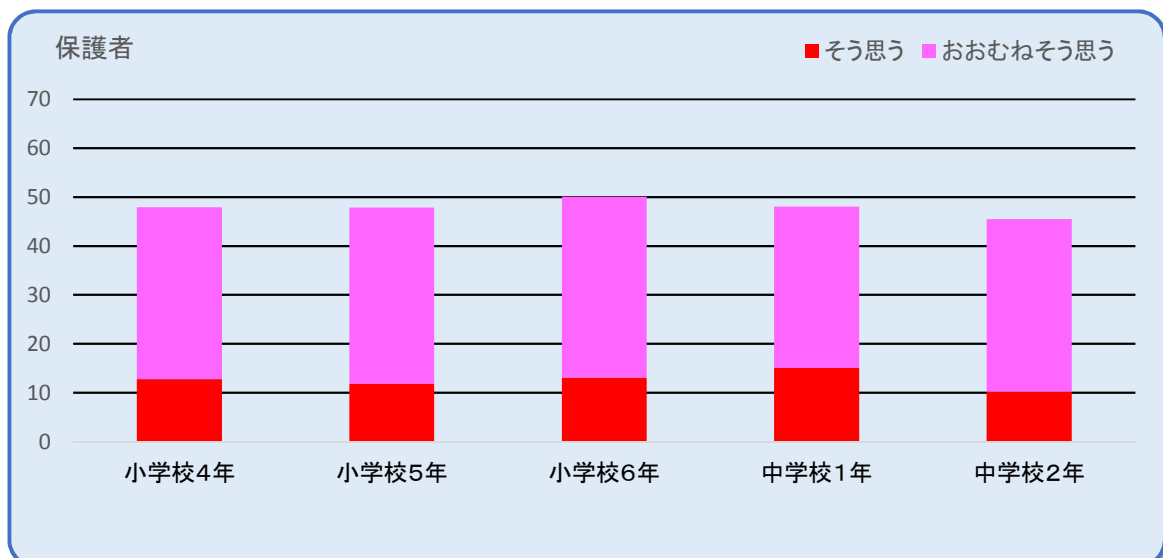


※全回答の中での「そう思う」「おおむねそう思う」との回答割合

(2) 学年別



※全回答の中での「そう思う」「おおむねそう思う」との平均回答割合

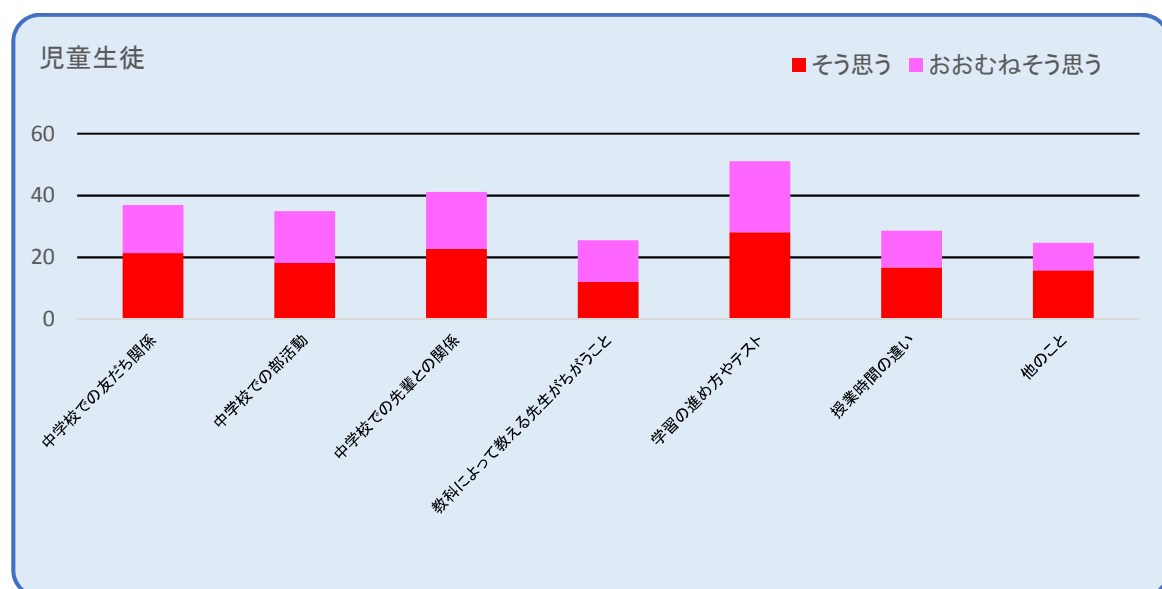


※全回答の中での「そう思う」「おおむねそう思う」との平均回答割合

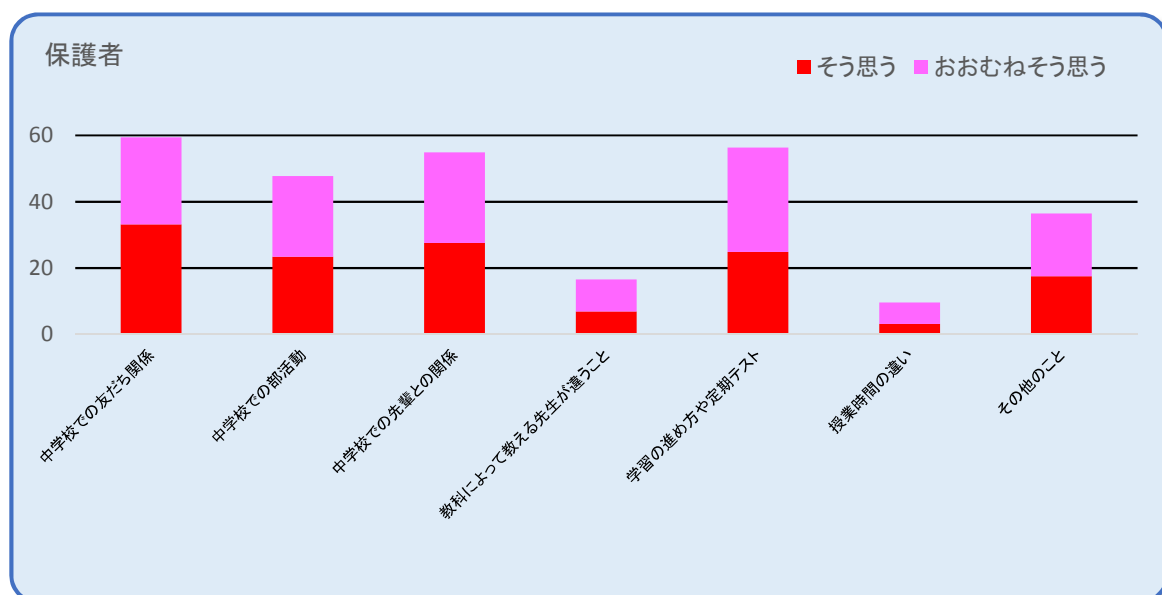
2 中学入学に係る不安について

○中学校入学にあたり「教科担任制」や「授業時間の違い」への不安は低く、小中連携教員や小学校での一部教科担当制の取組が定着し、充実しつつあります。

○中学校入学にあたり「中学校での友だち関係」「中学校での先輩との関係」「学習の進め方やテスト」「部活動」についての不安を持っています。引き続き、「児童生徒交流」や「系統的学習指導」についての取組を充実させていくことが望まれます。



※全回答の中での「そう思う」「おおむねそう思う」との回答割合

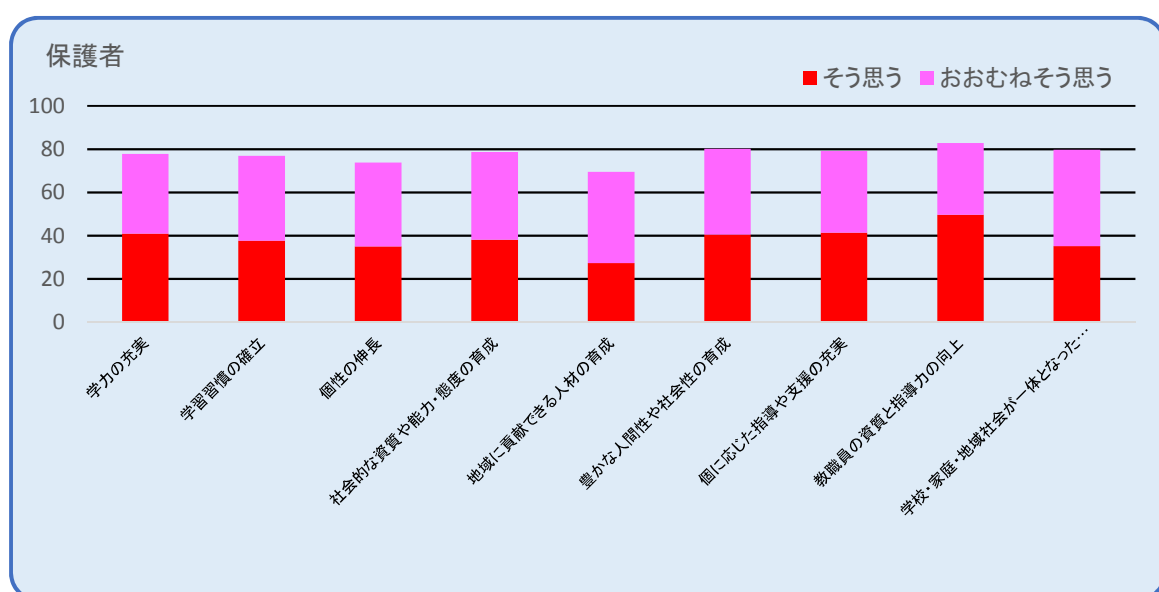


※全回答の中での「そう思う」「おおむねそう思う」との回答割合

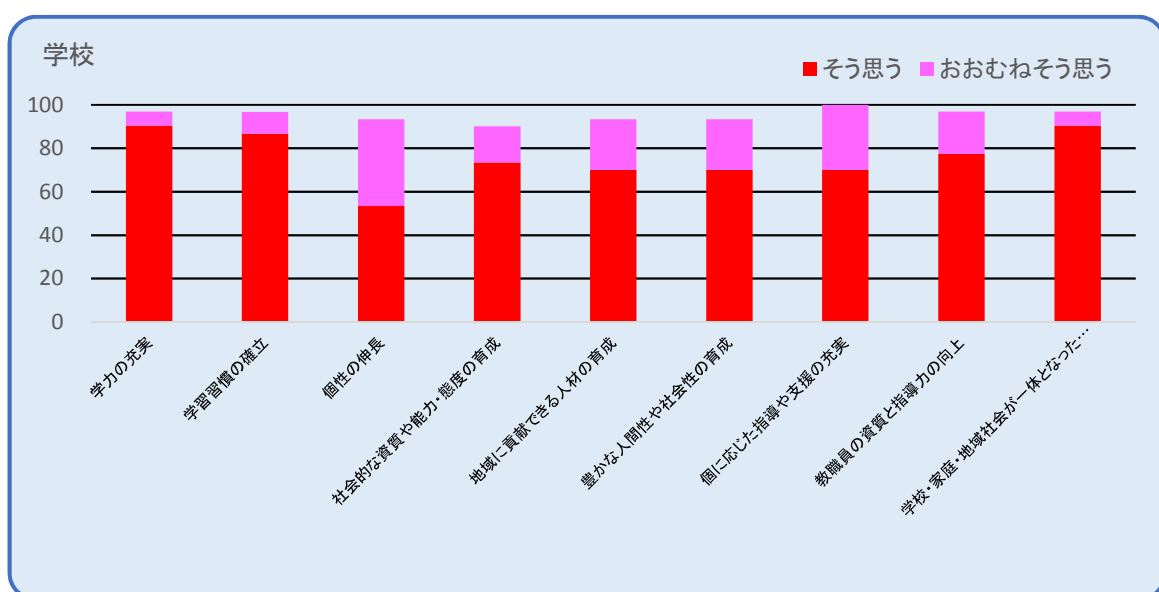
3 小中一貫教育における期待する成果について

○保護者は「教職員の資質と指導力の向上」「学力の充実」「個に応じた指導の充実」をはじめとして小中一貫教育に対して高い期待を寄せています。

○小中合同研修会や小中連携教員の活用など様々な取組をさらに充実させ、児童生徒の生きる力の育成を目指すことにより、保護者の小中一貫教育に対する高い期待に応えていく必要があります。



※全回答の中での「そう思う」「おおむねそう思う」との回答割合

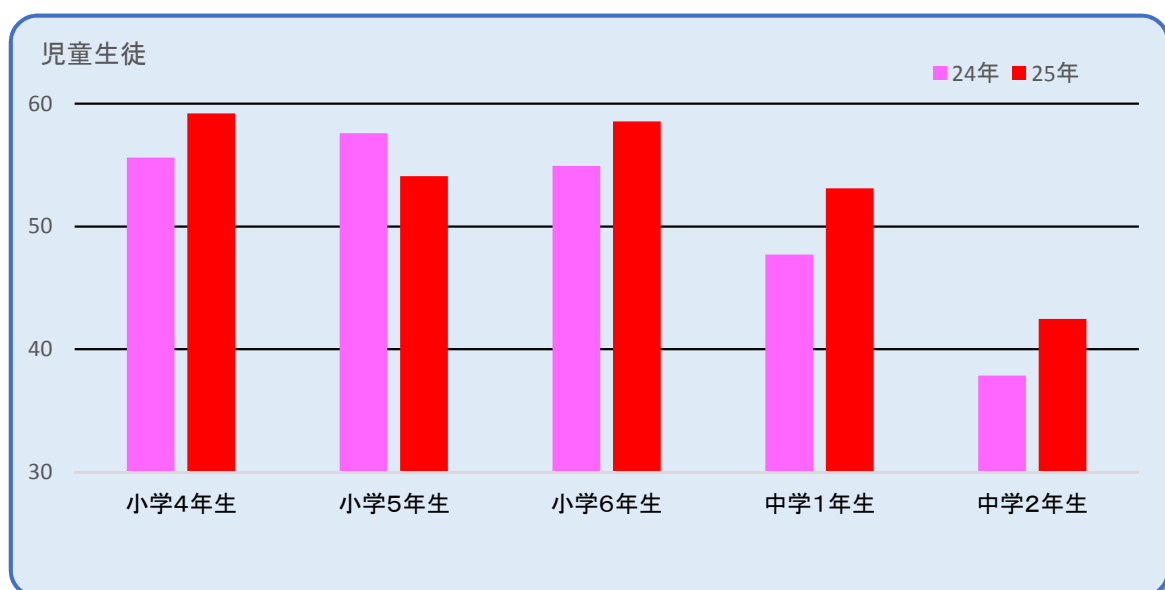


※全回答の中での「そう思う」「おおむねそう思う」との回答割合

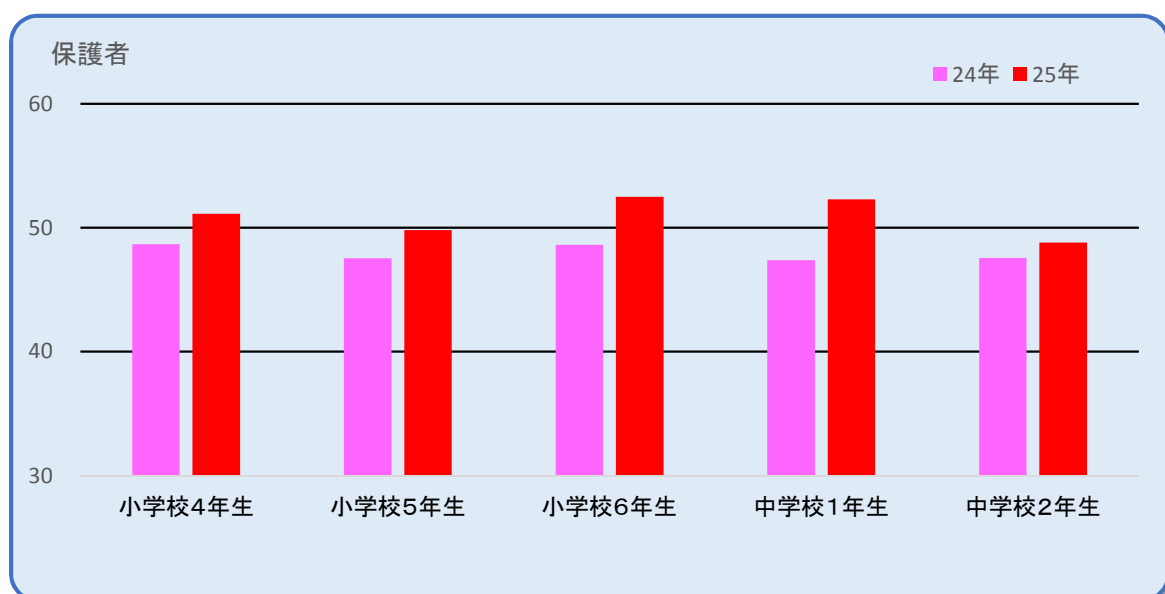
4 昨年度との比較

○児童生徒、保護者ともにほぼすべての学年で期待される回答割合が増加しています。特に児童生徒では中学校1，2年生において、保護者では小学校6年生、中学校1年生において期待される回答割合が大きく増加しています。

小中一貫教育の意識化が進み、小・中学校のなめらかな接続に視点をあてた取組（中1ギャップ解消を目指した取組）が定着し充実しつつあります。



※全回答の中での「そう思う」「おおむねそう思う」との平均回答割合



※全回答の中での「そう思う」「おおむねそう思う」との平均回答割合

Ⅲ まとめ

児童生徒、保護者ともに
小中一貫教育に対する意識が深まっています。

昨年度アンケートとの比較では、児童生徒・保護者ともに、どの学年においても期待される回答割合は増加傾向を示し、特に中学校 1・2 年生の増加傾向が顕著になっています。

小・中学校の
なめらかな接続に視点をあてた取組が
定着し、充実しつつあります。

「ねらいや取組に関する設問」において、児童生徒・保護者ともに学年別では小学校 6 年生で期待される回答割合が高くなっていることと、設問別では「系統的・継続的学習指導」「教員の校種間連携」「小・中学生の交流活動」の項目で期待される回答割合が高くなっています。

「学力の充実」をはじめとした取組を充実させ
保護者の高い期待に応えていく必要があります。

保護者の小中一貫教育に対する期待は昨年度に引き続いて高く、特に「教職員の資質と指導力の向上」「学力の充実」「個に応じた指導の充実」についての期待が高くなっています。

保護者・地域の小中一貫教育への理解を深め
相互連携を進めていく取組が望まれます。

「中学校ブロックを単位とした地域社会・保護者相互の連携を深めること」での期待される回答割合が低くなっています。また、児童生徒と比較すると保護者の期待される回答割合は総じて低くなっています。